



Ericom PowerTerm WebConnect



株式会社エイジェック

株式会社エイジェックは、顧客の多岐にわたる課題に応えるために、各分野での「専門性」と、グループで「総合力」を追求している人材総合会社です。

本社：東京都新宿区西新宿1-25-1
設立：2001年9月26日
URL：http://www.agekke.co.jp/

(取材日：2013年6月)

POINT

クラウド基盤のKVMに唯一対応

1

SBC、VDIの両方に対応する“融通の利く”クライアント仮想化ソリューション

2

安価な価格体系

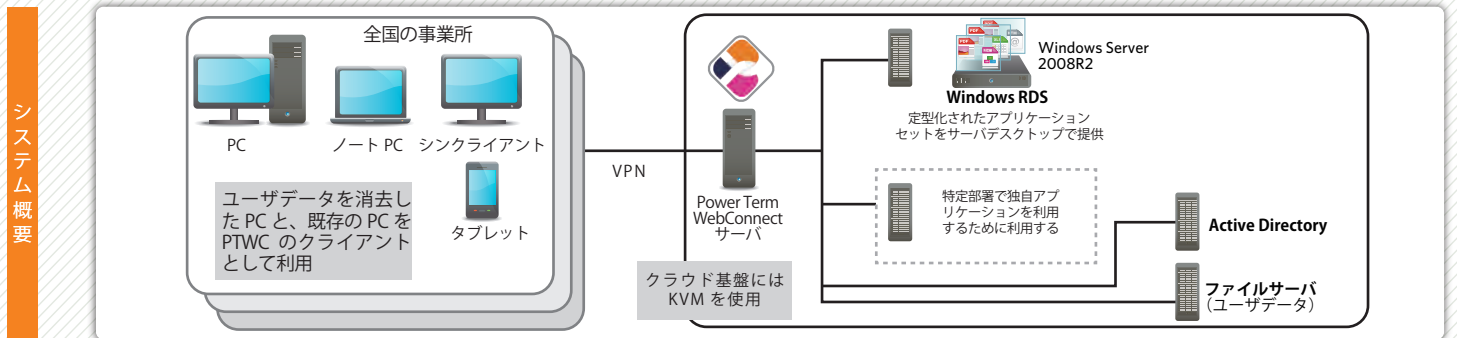
3

800台のPC管理の効率化、XPのサポート切れ対応がきっかけで始まったシンククライアント化

人材・雇用に関わる業務全般を手がける株式会社エイジェックでは、様々なワークスタイルが混在するため、800台に上るPC管理は非常に複雑でリスクも存在していました。そこでシステム開発部はデスクトップ仮想化を構想、BCP対策で利用するクラウド環境をサーバ基盤にすることを決定しましたが、そのハイパーバイザー KVMに対応できたのは、アシストの販売するEricom PowerTerm WebConnectだけでした。

課題 → 対策 → 効果

- | | | |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 4名で行う全社約800台のPC管理の効率化 ■ ノートPCからの情報漏えい対策 ■ PCトラブル時の対応負荷削減 ■ 全PCの8割を占めるWindows XPのサポート切れ対策 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 段階的なシンククライアント化 ■ BCP対策でも利用するクラウド環境をクライアント仮想化インフラとして活用 ■ 唯一、KVMに対応していたEricom PowerTerm WebConnectの採用 | <ul style="list-style-type: none"> ■ PC120台からサーバ共有デスクトップを利用。既存PCと比べても違和感のない操作性を発揮 ■ 既存PCのシンククライアント化で故障率が減少 ■ Windows XPサポート切れ対策の道筋をつけた ■ ノートPCからの情報漏えいリスク削減 |
|---|---|---|



システム概要

Ericom PowerTerm WebConnect

多様なワークスタイルの陰で 複雑化するPC環境とリスクの 高まり

株式会社エイジェックは人材総合商社だけに、様々なワークスタイルが存在します。顧客企業に向き、そこで仕事をするスタッフもいれば、プロジェクトの間だけ一時的に拠点を確保し、そこで働くスタッフもいます。もちろん、同社が擁する本社、支社、営業所で終日勤務するスタッフもいます。

そのために、同社のPC管理は非常に複雑でリスクの高いものとなっていました。全社で約800台を配布していましたが、一部はスタッフが顧客企業へ持ち込むノートPCです。そこでは紛失や盗難などに起因する情報漏えいの危険がつきまわっていました。また、デスクトップPCに関して、利用台数が流動的であるために、設置手続きや回収に手間がかかり、全容を把握することが困難になっていました。

さらに、システム開発部は東京の新宿本社および八王子センターを拠点としていましたが、遠方のPCに問題が発生すると、遠隔操作で復旧にあたります。これらすべての作業を4名で担っていたため、日々対応に追われていたといいます。加えて、PCの8割のOSがWindows XPであったため、保守サポート終了対策も考えなければなりません。ハードウェアの中には保守を満したものもありましたが、単純にリプレースすることには疑問を感じていました。

デスクトップ仮想化を決定するが、 サーバ環境と製品のアンマッチが判明

そこで検討を開始したのがデスクトップ仮想化でした。シンクライアント化すれば、情報漏えいのリスクやシステム保守の問題、OSやPCのリプレース問題を一気に解決することができます。システム開発部は、BCP対策とともにデスクトップ仮想化を経営トップに対し上申したところ、承認を得ることができました。

代表的なデスクトップ仮想化ソリューション・ベンダーを選択し、準備を開始。BCP対策でも利用するクラウド環境の採用が決定していましたが、調べていくと、そのクラウド基盤で利用できるハイパーバイザー(コンピュータを仮想化する際に、そのOSを並列に実行できるようにするソフトウェア)がKVM(Linuxカーネルが備える仮想化機能)で、選定候補であった仮想化ソリューション・ベンダーの製品は搭載できないことが判明しました。そこで選定をやり直すことにしました。

ハイパーバイザーKVMに唯一対応した Ericom PowerTerm WebConnect を選択

そこで候補に挙がったのが、Ericom PowerTerm WebConnect (以下、「PTWC」)でした。株式会社エイジェック システム開発部 システム運用・保守責任者 米澤健一氏は、システム選定プロセスを次のように振り返ります。

米澤氏 最初の出会いは展示会でした。調べてみると、最近注目を集めている製品だということが判明。アシストカルクでよく知っていたアシストが総代理店を務めているというので、さらに興味を持ちました。

動作状況を見るため2週間程度の検証を実施。スタッフや営業部門での利用を想定し、オフィスソフトやWebベースの営業支援システムを試しました。ストレスなく安定的に動くことが確認できたため、PTWCの採用を決定しました。経営トップも、デスクトップ仮想化には賛成しており、製品の知名度にはこだわらずGOサインを出しました。選定にあたったシステム開発部 課長 渡邊勝三氏は、選定の理由を次のように語ります。



渡邊勝三氏

渡邊氏 前提になっていたクラウド環境で、デスクトップ仮想化を実現できる方法は、PTWCの他にはありませんでした。日本では新しい製品で不安はありましたが、Windows XP問題もあり早く決着をつけたいと思っていました。動作検証で確信も得られたので、PTWCで行こうと決断しました。

120台でデスクトップ仮想化を実現 管理工数削減を確信

2012年5月、デスクトップ仮想化の取り組みがスタート。営業部門とオフィス部門のデスクトップPC120台を対象に、PTWCを導入し、フリーアドレス的に3名で2台を利用しています。シンクライアント端末を新規購入するのではなく、既存のPCを有効活用し、用途に応じてユーザーデータを消去するか既存の環境と並存させながら、PTWC クライアントソフトウェアをインストールして配布しています。

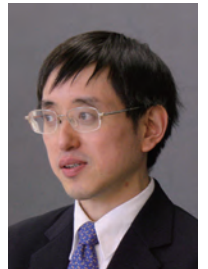
デスクトップ仮想化導入から約1年、エンドユーザーには、特に告知することなく静かに本稼働に入ったせいか、環境が変わったことに気づいていないスタッフもいるそうです。違和感はほとんどないようです。

PCのインフラ管理者のメリットも、いくつか確認されています。

まずは、メンテナンス。シンクライアント化したデスクトップPCの故障率が減少し、端末の配布も、データ容量が減ったので、申請から配布までの時間が若干短縮されました。まだ既存のデスクトップPCが存在するため、保守工数の削減には至っていませんが、配布後のユーザー対応も少ないので、「シンクライアント化すれば管理の手間が減る」という感触を得ています。次に、保守サポート終了が迫るWindows XP OSに関して第一弾の手立てが打てたこと。そして、シンクライアント化したPCにはデータが残らないため、情報漏えいリスクを削減できたことです。

Ericom PowerTerm WebConnectは その気になれば何でもできる

米澤氏は、PTWCの魅力、融通が利く、その気になれば何でもできることだと言います。実際、この製品は、Windows RDS (ターミナルサービス)、VDI、ブレードPC、物理マシンを集中管理し、あらゆるクライアントデバイスへ快適でセキュアなアクセス環境を提供することができます。



米澤健一氏

米澤氏 配布イメージを統一し、Windows RDSのサーバ共有デスクトップでクライアント仮想化を実現させましたが、特定の部門でしか利用しないアプリケーションなどについては個別VDIの配布を計画中で、現在検証を進めているところです。アシストのサポートは的確で、レスポンスも速いので満足しています。

この他、マルチデバイスでの利用など、少しずつ宝物を探すようにPTWCの機能を再確認しながら、将来的な拡張性を考慮して上位のエディションを購入しておいたことに安堵されています。

一方、渡邊氏はプロジェクト責任者としての立場から次のように語ります。

渡邊氏 PTWCは、競合製品よりコストが安価だと思います。また、情報漏えいのリスクを大きく軽減できるので、プライバシーマーク取得を予定している企業には最適なソリューションです。厳しい審査で知られているものの、デスクトップ仮想化を導入しているという点、『それでは端末にデータは残らないですね』とクライアント周りに関してはすんなり通りました。

増え続けるPC管理に悩んでいた中で探して当てたデスクトップ仮想化というソリューション、そして純粋に技術の観点で選択したPTWC。その柔軟な設計思想が、エイジェックのIT変革をサポートしています。

お問い合わせは **株式会社アシスト**

URL <http://www.ashisuto.co.jp/product/category/virtualization/ericom/> E-Mail eri_web@ashisuto.co.jp

東 京 〒102-8109 東京都千代田区九段北4-2-1 市ヶ谷東急ビル	TEL: 03-5276-5862	大 阪 〒530-0011 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 13F	TEL: 06-6373-7113
札 幌 〒060-0003 札幌市中央区北3条西4-1-1 日本生命札幌ビル 13F	TEL: 011-281-1161	広 島 〒730-0011 広島市中区基町12-3 COI広島紙屋町ビル 3F	TEL: 050-3816-0974
仙 台 〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア 19F	TEL: 050-3816-0970	福 岡 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-6-1 九勸筑業通ビル 9F	TEL: 092-481-7156
名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11 名古屋インターシティ 4F	TEL: 052-232-8211	沖 縄 〒900-0014 那覇市松尾1-10-24 ホークシティ那覇ビル4F	TEL: 050-3816-0976
金 沢 〒920-0853 金沢市本町2-15-1 ボルテ金沢 8F	TEL: 050-3816-0972		

※製品内容は、予告なく変更される場合があります。 ※記載されている会社名、製品名、各社の商標または登録商標です。 ER-004-AUG13